

令和3年 教職員評価（12月）

※評価基準 4：よく当てはまる（9割以上）、3：どちらかという当てはまる（8割以上～9割未満） 2：あまり当てはまらない（6割以上～8割未満）、1：全く当てはまらない（6割未満）	評価：4 3 2 1	
	令和3年 12月	令和3年 7月
【授業改善】学力向上推進プラン プロジェクトⅡの取組		
①基礎的・基本的な知識・技能の定着ができています	2, 8	2, 7
②児童から問いが生まれる授業の工夫を行っている（問いが生まれる発問、問い返し）	2, 9	2, 8
③学習のねらいの達成に向けた交流場面を設定している（学びの主体を教師から児童へ）	2, 9	2, 7
④授業では「めあて」と正対した「まとめ・ふりかえり」ができています（45分完結）	3, 1	3, 0
⑤「道徳」の授業で指導方法の改善を図っている（自分事としての振り返り、自覚化）	3, 0	3, 0
⑥校内研を意識した日々の授業改善に取り組んでいる（思考ツールの活用）	3, 1	2, 4
⑦授業の開始・終了時刻の徹底・立腰・黙想の実施（タイムマネジメント）	3, 5	3, 4
⑧学習規律の徹底（返事、姿勢、言葉遣い、学習用具の準備）	3, 0	2, 9
⑨授業と連動した家庭学習の習慣化	3, 3	3, 3
【揃える共通実践】チーム玉小の取組		
⑩将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている（キャリア教育）	2, 6	2, 5
⑪「読書が好きな子供」の育成を目指し、読書指導を行っている	2, 8	2, 7
⑫望ましい生活習慣づくりを目指した指導を行っている（はきものを揃える、廊下歩行、早登校）	3, 0	3, 2
⑬「立ち止まりあいさつ」の徹底（凡事徹底事項）	2, 6	2, 6
⑭「SDGs」「キャリア教育」「I Oの資質能力」の育成を意識した指導を行っている	2, 7	2, 6
⑮いじめや問題行動の予防や早期発見、早期解決に努めている（積極的な生徒指導）	3, 5	3, 4
⑯児童のよさを見つけ、児童相互に認め合えるような指導に努めている （学校T・T、誉め言葉のシャワー、QUの活用、支持的風土の確立）	3, 3	3, 0
⑰計画的に地域人材や保護者などを活用した授業を実施している（地域素材の活用）	2, 3	2, 3
【教師力向上】学び合い、成長し合う職場風土の醸成		
⑱教育公務員として法令・服務規律を遵守して教育活動を行っている	3, 7	3, 6
⑲担当した校務分掌について主体的に企画・実施している	3, 1	3, 1
⑳施設設備について、日常的な安全点検や管理が行われている	3, 4	3, 4
㉑仕事に「やりがい」を感じている（多忙感より充実感・達成感が多い）	3, 0	2, 9
㉒学習指導や教材研究等、教職員本来の業務に専念できている（業務改善、働き方改革）	2, 9	2, 9
【環境整備】居心地の良い楽しい学校づくり		
㉓児童は学校へ来ることを喜んで（楽しんで）いる	3, 1	3, 0
㉔子供と向き合えている（生徒指導の三機能に基づく児童へのかかわり）	3, 0	2, 9
<p>その他、意見があれば記入してください：12月</p> <p>①コロナで難しい（もっとやりたいのにできない）ことがあった。見学、リズム打ちの接触、料理等、しかたないですね。</p> <p>②よいこの歩みを提出する時期に、1週間程度4校時又は5校時下校の週間があると、事務処理しやすくなると思います。可能であれば検討をお願いします。</p> <p>③やりがいは感じているが、多忙感も同じくらい感じている。</p> <p>④2学期は、学校行事・学年行事が多く、協力学級担任の力を借りながら参加することができた。</p> <p>⑤学習規律の用具準備は保護者の協力が必要だが、対策方法はTELしかないのだろうか。</p> <p>⑥気になる児童への対応についての共有がなされていない気がする。（生徒指導いじめ対策部会に挙がっていない学年で対応中の児童）全体で確認が必要な子もないだろうか？</p>		